

レジメン名

mERd

出典 レブラミド適正使用ガイド2010年8月作成  
 エムプリシティ適正使用ガイド2019年11月作成

**実施部署区分**

入院 外来 処置

対象疾患

多発性骨髄腫  
進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発

**投与減量の基準**

その他 PLTが3万/mm<sup>3</sup>未満の時、回復後15mg/日で再開  
 CLcrが60mL/min未満の時、10mg/日 連日投与  
 CLcrが30mL/min未満の時、15mg/日 隔日投与  
 透析患者では、5mg/日 連日投与

**減速の基準(エムプリシティ)**

Grade2のInfusion reaction:Grade1以下に回復後、再投与可<sup>※2</sup>  
 Grade1のInfusion reaction:回復するまで投与速度を30mL/hrに減速<sup>※2</sup>

1クール期間

28日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

**投与中止の基準**

ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	3万/mm <sup>3</sup> 未満
その他	(エムプリシティ) Grade3以上のInfusion reaction		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
1.2クール目				
エロツズマブ(エムプリシティ)	10mg/kg	輸液 <sup>※1</sup> 150-350mL	初回は 30mL/hr から漸増 <sup>※2</sup>	day1、8、15、22
デキサメタゾン(デキサート)	29.7mg <sup>※3</sup> /body	輸液100mL	30分	day1、8、15、22
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21
3クール目以降				
エロツズマブ(エムプリシティ)	10mg/kg	輸液 <sup>※1</sup> 150-350mL	300mL/hr	day1、15
デキサメタゾン(デキサート)	29.7mg <sup>※3</sup> /body	輸液100mL	30分	day1、15
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		day8、22
※1 150mL(体重<50kg)、250mL(50kg≤体重≤90kg)、350mL(90kg<体重)				
※2 速度の詳細は添付文書参照				
※3 通常エロツズマブ投与日はデキサメタゾン28mg内服と8mg(デキサメタゾンリン酸エステルとして)静注だが29.7mg静注で登録				

1日投与順 (経時的にブレイクレーション・ポストブレイクレーション、溶解液まで含む)
1、2クール day1、8、15、22 ①デキサート29.7mg <sup>※3</sup> +生食100mL(30分) ②ファモチン20mg+ボラミン5mg+生食100mL(15分) ③生食100mL(30分) ④エムプリシティ10mg/kg+注射用25mg/mL+輸液150-350mL <sup>※1</sup> (30mL/hrより開始 <sup>※2</sup> ) ※0.2μm以下のインラインフィルターを用いて投与 ⑤生食50mL(フラッシュ用)
<内服> アセトアミノフェン400mg 分1 エムプリシティ投与30分前 レブラミド25mg 分1 寝る前 d1-21
3クール以降 day1、15 ①デキサート29.7mg <sup>※3</sup> +生食100mL(30分) ②ファモチン20mg+ボラミン5mg+生食100mL(15分) ③生食100mL(30分) ④エムプリシティ10mg/kg+注射用25mg/mL+輸液150-350mL <sup>※1</sup> (300mL/hrより開始 <sup>※2</sup> ) ※0.2μm以下のインラインフィルターを用いて投与 ⑤生食50mL(フラッシュ用)
<内服> アセトアミノフェン400mg 分1 エムプリシティ投与30分前 レブラミド25mg 分1 寝る前 d1-21 内服 day8、22はレナデックス40mg 分1-2で昼までに内服